



## 町長も自慢の歌を披露

～蘭越町老人クラブ交流会～

12月1日、蘭越町社会福祉協議会主催の蘭越町老人クラブ交流会が山村開発センターを会場に開催されました。町内の7つの老人クラブが一堂に会して、交流会と芸能発表で楽しいひと時を過ごしました。



## 声援が響き渡りました

～第22回町長杯ミニバレーボール大会～

今年で22回目となる町長杯ミニバレーボール大会が、総合体育館を会場に開催されました。28チーム155人が出場し、熱戦を繰り広げました。コート上での鋭いアタックやレシーブに会場は盛り上がりを見せていました。



## きれいに磨けたかなあ

～歯みがき教室～

12月6日、歯みがき教室が子育て支援センターを会場に開催されました。毎日の歯みがきが楽しくなるように、歯科衛生士さんの指導で磨き残しをチェックし、虫歯のない健康な永久歯づくりに向けて、学習しました。



## 今年も上手くできました

～御成小学校版画カレンダー～

今年で26冊目となる御成小学校手づくり版画カレンダーの制作が、12月16日、御成小学校で行われました。児童たちは、1枚1枚丁寧に版画に色を塗り、完成したカレンダーの出来栄を確認していました。



### 北海道知事感謝状受賞

岩谷 春一さん（字黄金）

昭和45年10月から世界農林業センサス・国勢調査調査員として、平成22年10月までの永きにわたり各種統計調査に従事し、その重要性を深く認識するとともに、職務に精励し多くの困難を克服して統計調査の推進に大きく貢献した業績が認められ、北海道知事より表彰されました。

### 北海道知事感謝状受賞

堀川強太郎さん（蘭越町）

昭和40年10月から国勢調査調査員として、平成22年10月までの永きにわたり各種統計調査に従事し、その重要性を深く認識するとともに、職務に精励し多くの困難を克服して統計調査の推進に大きく貢献した業績が認められ、北海道知事より表彰されました。

### 北海道知事感謝状受賞

樫 次雄さん（字富岡）

昭和61年2月から世界農林業センサス・国勢調査調査員等として、平成22年10月までの永きにわたり各種統計調査に従事し、その重要性を深く認識するとともに、職務に精励し多くの困難を克服して統計調査の推進に大きく貢献した業績が認められ、北海道知事より表彰されました。

### 北海道知事感謝状受賞

亀井喜久雄さん（字御成）

昭和61年2月から国勢調査調査員として、平成22年10月までの永きにわたり各種統計調査に従事し、その重要性を深く認識するとともに、職務に精励し多くの困難を克服して統計調査の推進に大きく貢献した業績が認められ、北海道知事より表彰されました。

## 東日本大震災～支援の輪が広がっています～

### 米11実行委員会

#### 義援米を被災地へ

「第1回米11グランプリinらんこし」実行委員会では、去る3月11日の東日本大震災で甚大な被害を受けた被災地支援のため、義援米を被災地のひとつ大槌町へ持参しました。実行委員では、この大会の趣旨に賛同いただいた全国各地からの出品者を代表し、コンテスト出品米1200kgを向山実行委員長外実行委員が陸路により輸送し、大槌町復興支援ボランティアセンター（同町社会福祉協議会）へ直接義援米を手渡ししました。現地では徳田信也大槌町社会福祉協議会会長の出迎えを受け、向山実行委員長が「被災にあわれた方々に、わずかではありますがお受け取りいただき、一日も早い復興を心よりお祈りします。」との言葉を添え、手渡ししました。



### 目名地区からも

#### 義援米を被災地へ

東日本大震災の被災地で、仮設住宅住まいの方が2千戸、今なお8百人もの行方不明者がいると言われていた岩手県大槌町へ、11月21日、目名地区町づくり協議会堀正会長他1名が、蘭越産新米ほしのゆめ50kgを届けて参りました。これは、今年の目名地区夏祭りの際に東日本大震災の復興支援として義援金を募り、その集まった義援金約11万円で購入した米を輸入し、復興の手助けになればと手渡してきたものです。現地近くの海岸線に入ると、未だにがれきの山や半倒壊した無残な姿の建物が目に入り、周辺には商店や宿泊施設、ガソリンスタンド等も全く無く、復興しているとは言いがたい状況でした。現地では、徳田信也大槌町社会福祉協議会会長の出迎えを受け、「皆様方からの温かい支援を有効に使わせていただきます。」とコメントいただきました。

